

令和5年亀岡市議会定例会3月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	福井 英昭 (新清流会) 3月6日(月) 10:00~  ※代表質問 (一括)	1 市長の政治 姿勢について	市長2期目の最終予算である。第5次亀岡市総合計画や市長自らのマニフェスト「かめおか・未来・チャレンジビジョンII」の理想に近づける予算立てになっていることと考える。 (1)令和5年度当初予算に込めた市長の思いを問う。 ①財政状況について、それぞれの指標が改善し、それぞれの基金も増えている。劇的な改善もあり、市長の政治手腕を高く評価するが、これが本当の実力なのか。 ②将来負担比率の予想以上の改善の要因は。 ③実質単年度収支の劇的な改善の要因は。 (2)桂川市長の「先を見越した市政運営」について問う。 ①かめおかプラスチックごみゼロ宣言・亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例施行による、今の亀岡市を想像していたのか。 ②子どもファースト宣言について、今後、国や府の施策が追いつくことを見越しているのか。	市長
		2 人口増加ターゲットについて	転入超過となった亀岡市が、これからも転入超過を続けるためのターゲットについて問う。 (1)転入・移住者を増やすためのターゲットは。 (2)一度転出した若者が、様々な事情で亀岡へ帰って来られる、帰って来やすい、そのようなまちをつくりたいと願うが所見は。	市長 所管部長
		3 公共交通対策について	もともとまちづくりの根幹ともいえる公共交通の整備レベルを飛躍的に引き上げる必要がある。 (1)亀岡市地域公共交通会議では、公共交通の根本的な議論はできているのか。 (2)高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施しているが、返納後の移動権の保障は確保できているのか。 (3)地域主体型交通を進めようとしているが、地域的にも規模的にも限界があるのではないのか。 (4)自動運転バスや空飛ぶクルマなど、導入のための実験なども考えてはどうか。	市長 所管部長
		4 環境政策について	日本初の亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例や亀岡市ポイ捨て等禁止条例など、環境先進都市を目指した施策が進められている。	市長 所管部長

		<p>5 新火葬場について</p> <p>6 市内幹線道路網の形成について</p> <p>7 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>8 全国都市緑化フェア誘致について</p>	<p>(1) 亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例施行後の状況について、検証できているのか。</p> <p>(2) 亀岡市ポイ捨て等禁止条例施行後の検証についてはどうか。</p> <p>(3) 2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指す「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」について、2030年までの道程は。</p> <p>(4) 廃油の回収について、道筋を考えるとどうか。</p> <p>新火葬場整備構想について、現在の進捗とスケジュールを問う。</p> <p>(1) 構想の進行にストップをかけていた案件は、解決したのか。</p> <p>(2) 建設手法等に変更はないのか。</p> <p>(3) 今後、何年度の完成を目指すのか。</p> <p>(4) 南丹市の新火葬場との関係は。</p> <p>(5) 京都市西京区、右京区、向日市、長岡京市などの需要は考慮するのか。</p> <p>亀岡市の道路交通網整備が進められているが、都市構想としての道路網について問う。</p> <p>(1) 宇津根橋から下流に至る、桂川右岸道路の完成時期は。</p> <p>(2) 府道郷ノ口余部線（宇津根新国道線）を延長し京都縦貫自動車道亀岡ICへつながる、そして亀岡川東地域と川西地域を直結する市道並河蚊又線の進捗状況は。</p> <p>新型コロナウイルス感染症について、政府は、5月8日をもって2類相当から5類へ移行するとしているが、この対応とその内容について問う。</p> <p>(1) 予定どおり5月8日に分類移行が行われる場合、京都府としてどのような対応が予想されるのか。</p> <p>(2) 同様に、亀岡市としてどのように対応しなければならないのか。</p> <p>(3) 亀岡市はその対応が可能なのか。</p> <p>(4) 考えられる市民生活への影響は。</p> <p>全国都市緑化フェアは、一昨年までは政令都市や中核都市などでしか開催されてこなかったが、昨年、北海道恵庭市で開催された。この誘致について問う。</p> <p>(1) 全国都市緑化フェア誘致の見通しは。</p> <p>(2) 全国都市緑化フェアを開催する意義は。</p> <p>(3) 誘致が成功した場合、どのような体制で準備を進めるのか。</p> <p>(4) 近隣市町や京都府との連携はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	--	---	---

2	<p>木村 勲 (亀岡社中) 3月6日(月) 13:00~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	<p>1 令和5年度 予算編成につい て</p> <p>2 かめおか児 童クラブの運営 について</p> <p>3 交通対策に ついて</p> <p>4 セーフコミ ュニティと防災 について</p>	<p>第5次亀岡市総合計画「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」の3年目を迎えるに当たり、令和5年度予算について問う。</p> <p>(1) 令和5年度一般会計391億4,400万円、特別会計315億6,574万円の合計707億974万円と過去最高金額となっているが、今後の財源と財政見通しは。</p> <p>(2) 令和4年度のふるさと納税は1月末現在で、昨年度を上回る過去最高額の33億円を超える財源となっているが、一方で恒久的な自主財源を確保するための取組は。</p> <p>(3) 今年度の施策の核となった「子どもファースト宣言」の取組が及ぼす少子化対策への波及効果と施策を持続させるために必要な予算と財源は。</p> <p>(4) 令和元年12月頃に発生した新型コロナウイルス感染症も感染拡大してから約3年が経過した。今年の春には、感染症法の位置づけを2類相当から5類に移行すると言われているが、今後どのように市政運営していくのか。</p> <p>保護者が就労等で不在の間も適切な環境の中で、子どもたちが安心して過ごせる場所を提供する「かめおか児童クラブ」の充実について問う。</p> <p>(1) 一家庭2人目以降無料化(所得制限なし)、平日午後7時まで開設、土・日・祝日に3か所で開設することで、利用者はどのくらい増える見込みなのか。</p> <p>(2) 新たに4施設を借り上げるが、現在借り上げている施設数は。</p> <p>(3) 運営指導員4人、支援員57人、支援補助員140人を配置する根拠と人員の確保状況は。</p> <p>近年、高齢者による重大な交通事故が多発しているが、本市の防止策について問う。</p> <p>(1) 高齢者の交通事故防止の観点から、高齢者運転免許証自主返納支援事業が実施されているが、過去5年間の返納者数は。</p> <p>(2) 特典として「敬老乗車券1冊」(20枚分)または「京都タクシー(株)利用カード」(5,000円相当分)のどちらかを受け取ることができるが、過去5年の申請者数は。</p> <p>(3) 受け取りは1回限りであるが、複数回実施する考えは。</p> <p>(4) ふるさとバスの増便、バスの利用無料券等の支援を行う予定は。</p> <p>安全で安心なまちづくり「セーフコミュニティ」のパイオニアである亀岡市として、日本初の国内認証取得と消防団活動について問う。</p> <p>(1) 亀岡市は、過去に3回セーフコミュニティ</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
---	---	---	---	---

		<p>の国際認証を取得しているが、国内認証を取得することで、どのような効果があるのか。</p> <p>(2) 国際認証と国内認証の違いと取得に要する経費の違いは。</p> <p>(3) 防犯カメラ設置業務で設置したカメラの台数と増設する予定は。</p> <p>(4) 今年度の消防団活動の団員報酬と出動報酬の金額は。</p>	<p>の国際認証を取得しているが、国内認証を取得することで、どのような効果があるのか。</p> <p>(2) 国際認証と国内認証の違いと取得に要する経費の違いは。</p> <p>(3) 防犯カメラ設置業務で設置したカメラの台数と増設する予定は。</p> <p>(4) 今年度の消防団活動の団員報酬と出動報酬の金額は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
5	道路行政について	<p>国道9号では、土日を問わず交通渋滞が発生している。また、1月の大雪では、国道9号、京都縦貫自動車道ともに老ノ坂で通行止め、JR嵯峨野線も運休となり、亀岡市は陸の孤島と化した。今後の交通整備と対策について問う。</p> <p>(1) 街路事業馬堀停車場篠線(第2工区)、市道城山医王谷中山線、市道並河蚊又線の整備予定は。</p> <p>(2) 国道423号バイパスの完成予定は。</p> <p>(3) 国道423号の明智の戻り岩北側に霧の展望台を建設してはどうか。</p> <p>(4) 国道9号ダブルルートの早期実現が望まれるが進捗状況は。</p> <p>(5) 国道9号の老ノ坂4車線化と京都縦貫自動車道篠インター付近から大原野インターまでのバイパス構想はあるのか。</p>	<p>国道9号では、土日を問わず交通渋滞が発生している。また、1月の大雪では、国道9号、京都縦貫自動車道ともに老ノ坂で通行止め、JR嵯峨野線も運休となり、亀岡市は陸の孤島と化した。今後の交通整備と対策について問う。</p> <p>(1) 街路事業馬堀停車場篠線(第2工区)、市道城山医王谷中山線、市道並河蚊又線の整備予定は。</p> <p>(2) 国道423号バイパスの完成予定は。</p> <p>(3) 国道423号の明智の戻り岩北側に霧の展望台を建設してはどうか。</p> <p>(4) 国道9号ダブルルートの早期実現が望まれるが進捗状況は。</p> <p>(5) 国道9号の老ノ坂4車線化と京都縦貫自動車道篠インター付近から大原野インターまでのバイパス構想はあるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
6	ガレリアかめおかの長寿命化と文化施設について	<p>昨年度は、ガレリアかめおかの長寿命化に伴う大規模改修工事に多額の予算を使い、今後も30年間で施設の運営に100億円近い費用を要すると想定されている。</p> <p>(1) 今後のガレリアかめおかの施設運営に係る費用と計画は。</p> <p>(2) 文化ホールと文化資料館の建設予定は。</p> <p>(3) ガレリアかめおか周辺の開発予定は。</p>	<p>昨年度は、ガレリアかめおかの長寿命化に伴う大規模改修工事に多額の予算を使い、今後も30年間で施設の運営に100億円近い費用を要すると想定されている。</p> <p>(1) 今後のガレリアかめおかの施設運営に係る費用と計画は。</p> <p>(2) 文化ホールと文化資料館の建設予定は。</p> <p>(3) ガレリアかめおか周辺の開発予定は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
7	環境政策について	<p>世界に誇れる環境先進都市実現のため、議会と市で「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、その後「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」が制定された。マイバッグの普及等、取組の成果が一定上がってきたが、今後の構想について問う。</p> <p>(1) 4月から将来世代に負担をかけない循環型社会の実現に向けた、次なる一歩として、家庭ごみの分別区分拡大が実施されるが、想定される効果は。</p> <p>(2) 市民に内容を周知し、理解してもらっているのか。</p> <p>(3) 昨年10月、排出されたごみの中に混入したスプレー缶が原因と推測される火災事故が発生したが、事故の対応とその後の対策は。</p> <p>(4) 事業者から土産や水製品用に生分解性プラスチックレジ袋を使用したいと要望がある</p>	<p>世界に誇れる環境先進都市実現のため、議会と市で「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、その後「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」が制定された。マイバッグの普及等、取組の成果が一定上がってきたが、今後の構想について問う。</p> <p>(1) 4月から将来世代に負担をかけない循環型社会の実現に向けた、次なる一歩として、家庭ごみの分別区分拡大が実施されるが、想定される効果は。</p> <p>(2) 市民に内容を周知し、理解してもらっているのか。</p> <p>(3) 昨年10月、排出されたごみの中に混入したスプレー缶が原因と推測される火災事故が発生したが、事故の対応とその後の対策は。</p> <p>(4) 事業者から土産や水製品用に生分解性プラスチックレジ袋を使用したいと要望がある</p>	<p>市長 所管部長</p>

		8 農業・林業支援について	<p>が、導入する考えはあるのか。</p> <p>ふるさと納税の返礼品である京野菜の振興と亀岡市の名水を作る山の保全に対する構想について問う。</p> <p>(1)「オーガニックビレッジ宣言」と農業支援の関連は。</p> <p>(2)森林資源解析等の事業に関する今後の展開は。</p> <p>(3)亀岡市水と緑の基本計画策定委員会が発足したが、亀岡の自然を守り、全国都市緑化フェア構想と展望は。</p>	市長 所管部長
3	<p>齊藤 一義 (経政会) 3月6日(月) 14:30~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	1 市長の政治姿勢について	<p>市長の政治姿勢について問う。</p> <p>(1)世界に誇れる環境先進都市の取組について問う。</p> <p>①地域こん談会で毎年課題に上がる亀岡市農業公園の環境に悪い悪臭問題を解決せずに、環境先進都市はないと思うが見解は。</p> <p>②亀岡市農業公園にふん尿等によるバイオガス発電プラントを設置いただける民間事業者を誘致し、悪臭を軽減して近隣住民が屋外でいつでも亀岡のおいしい空気で深呼吸できるように改善することが先決ではないか。</p> <p>③生ごみがバイオガスになるため、団地ごとや地域ごとに収集する計画は。</p> <p>④京都市は修学旅行生向けに「環境にやさしい修学旅行」の企画に取り組まれているが、先駆者の本市もチャンスであり、営業に力を入れてはどうか。</p> <p>⑤西別院町笑路と曾我部町法貴の山に稼働予定の太陽光メガソーラー発電施設は、亀岡市太陽光発電設備の設置及び管理に関する条例にのっとって監視指導できるのか。</p> <p>(2)子どもファースト宣言に係る取組について問う。</p> <p>①国の方針を鑑みながら、一般会計からの支出を計画的に考えてはどうか。</p> <p>②子育て政策での財政負担について、人口増による税收増で賄うことを期待するが、試算はしているのか。</p> <p>(3)オーガニックビレッジ宣言に係る取組について問う。</p> <p>①有機農場と隣接する既存ほ場間で、ヘリコプター・ドローン・動噴などによる農薬散布の高度・風力・範囲の基準はあるのか。</p> <p>②有機農場に隣接する既存農家が、有機農家に配慮して未耕作にした場合の補償は考えているのか。</p> <p>③有機野菜の価格が高くて、人にも自然界にも安全・安心な点を市民に御理解いただき、購入いただくことにより、有機農家の応援と拡充、何より市民の健康に寄与すると考える</p>	市長

		<p>2 第5次亀岡市総合計画の基本方針について</p>	<p>がどうか。</p> <p>(4) まちのにぎわいづくりについて問う。</p> <p>① J R 亀岡駅北エコマルシェやキッチンカー出店者は、目に見えて売上げが上がっていると考えられるが、J R 亀岡駅南周辺の活性化はどのように取り組んでいくのか。</p> <p>② 西友亀岡店跡について、企業側の思いはあるが、高層マンションにして、低層階を店舗や塾、医療関係、高齢者施設等にしてはと提案するが、市としての思いはどうか。</p> <p>③ オープンイノベーションセンター・亀岡の研究施設等を活用し、新産業を創出して企業誘致を推進するとあるが、次代を担うeアクスル関連企業に注力してはどうか。</p> <p>④ J R 亀岡駅近隣に位置する亀岡市文化資料館のテニスコートや旧亀岡市上下水道部跡地、旧亀岡会館跡地の市有地に、本市の財源確保につながる優良企業を誘致し、市有財産の有効活用とJ R 亀岡駅南地域の活性化につなげる考えは。</p> <p>第5次亀岡市総合計画の基本方針について問う。</p> <p>(1) 互いを認め合う、ふれあいのまちづくりについて、外国人労働者は、人手不足解消など企業存続や、本市の財源確保には不可欠であるため、異国から来られた相手の立場に立ち、共生社会で働きやすい環境づくりをどう整えていくのか。</p> <p>(2) 安全で安心して暮らせるまちづくりについて、有事に備えた非常招集訓練やポンプ操法は大切であるが、ポンプ操法大会への参加は、見直しを検討するべきではないか。</p> <p>(3) 子育て・福祉・健康のまちづくりについて問う。</p> <p>① かめおか児童クラブは、時間が延長されて非常にありがたいが、子どもが長時間空腹となるため、保護者の負担でよいのでおやつを出してもらえないかとの声を聞くが考えは。</p> <p>② ガレリアかめおか内の図書館を、親子がくつろいで絵本が楽しめるように「子ども図書館」として改修し、ガレリアかめおか全体の利活用につなげてはどうか。</p> <p>(4) 豊かな学びと文化を育むまちづくりについて問う。</p> <p>① 探究学習などを教える教員側が時代の変化に対応できるように、リスキリング（学び直し）が必要と考えるがどうか。</p> <p>② 別院中学校長の不祥事は大変遺憾であるが、どのような経過であったのか。</p> <p>③ 怒りの矛先が教育長に向かい、戒告処分が軽過ぎるとの声が多いが、どう思われるか。</p> <p>(5) 活力あるにぎわいのまちづくりについて、</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
--	--	------------------------------	---	----------------------------

			<p>入込客数の多いトロッコ列車と保津川下りのさらなる活性化を問う。</p> <p>①トロッコ列車をJR亀岡駅まで延伸できないか。</p> <p>②保津川下りの船体を1艘だけでも真っ赤に塗って、跳ね馬のエンブレムがある「フェラーリ」とコラボした跳馬船としてはどうか。</p> <p>(6)快適な生活を支えるまちづくりについて問う。</p> <p>①今年1月の大雪では、亀岡市はまさに陸の孤島になったが、片側2車線ならスタック車両は片側に寄せて通行が可能である。国道9号4車線化を急ぐべきではないか。</p> <p>②箕面萱野駅の開業を見据えて、阪急バス東能勢線の「牧」と、亀岡市ふるさとバス別院コースの「神地」を結ぶバス路線確保について、今後協議していくのか。</p> <p>③JR亀岡駅南側で、府道亀岡停車場線の追分町辺りは、昔のまま狭小であり、本市の玄関として大変恥ずかしい。立ち退きで道路拡幅するべきと考えるがどうか。</p> <p>(7)効率的で持続可能な行財政運営について、民間との連携によって民間のノウハウを活用し、行政課題の解決につなげる取組などを推進するとある。</p> <p>①地方公共団体などの支援を通じて社会課題の解決に向けた取組をする、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社から、本市に有効なアドバイスを頂けるのか。</p> <p>②デロイトトーマツ社のホームページでは社員の高額所得が目立つが、本市のリターン(投資利益率)は。</p> <p>③効率的で持続可能な行政運営に民間ノウハウを導入するために、民間では常にリターンを念頭に置くことが必須であり、我が会派の理念である「財源なくして市民福祉の増進なし」と思いは通じるが考えは。</p>	
4	<p>三上 泉 (共産党議員団) 3月6日(月) 16:00~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	1 市長の政治姿勢について	<p>コロナ禍に引き続く物価高騰に対する策のなさと、防衛予算増を新たな国民負担で行う政府の方針に怒りの声が上がっている。市民からは「暮らしが大変」という言葉が多く出されている。亀岡市政に対しては、「子どもファーストはよいが、高齢者も大事にしてほしい」「対応が冷たい」「もっと住みよいまちにしてほしい」などの声が寄せられている。これらの市民の声をもとに、市長の政治姿勢について問う。</p> <p>(1)市民の「暮らしが大変」という実感に対する所見と、市民の暮らしや営業の状況をどのように把握しているかを問う。</p> <p>(2)市民の暮らしと地方財政支援の見地から、政府の防衛予算の倍増方針について問う。</p>	市長 所管部長

			<p>①防衛予算倍増の方針決定に対する所見は。</p> <p>②市民の暮らしを守る市長としての立場で、撤回を国に求めるべきではないか。</p> <p>(3) 高齢者や障がい者を支援する施策について問う。</p> <p>①高齢者が抱く「取り残されている感」に対する市長の所見は。</p> <p>②暮らしが大変なときだからこそ、高齢者に対する負担軽減や新たな給付金などの支援策も充実すべきではないのか。</p> <p>③数年前に打ち切られた、緊急通報装置の無料貸出しや、安心長寿の福祉助成金などを今こそ復活させるべきではないのか。</p> <p>(4) この間の市民の皆さんから寄せられた声で2番目に多かったのは、移動手段の確立を求める声である。市民の移動手段の確立とまちづくりのビジョンについて問う。</p> <p>①高齢化社会における住みよいまちづくりとして、これまでの道路行政や公共交通の在り方の踏襲から、抜本的に再構築が必要であるとするが、市長の所見は。</p> <p>②上記の一環として、完全歩車分離の新たな歩行者専用道路や自転車専用道路を意識的に計画したまちづくりをすべきではないのか。</p> <p>③交通空白地への公共交通網整備あるいは幹線道路から住宅地内を巡回する公共交通の整備として、民間事業者への業務委託だけでなく、コンパクトな無公害車の導入など長期的な展望を持った計画が必要であるとするがどうか。</p> <p>(5) SDGs 未来都市、環境先進都市など、所管部課が連携した、持続可能なまちづくりのビジョンについて問う。</p> <p>①2030年までのSDGsの達成目標とプラごみゼロやゼロエミッション計画、2050年を目途とする脱炭素社会への具体的進捗状況と、具体的な計画は。</p> <p>②レジ袋禁止やごみの分別細分化など、「つかう責任」を問う施策は進み出しているが、「つくる責任」を問うための具体的なアクションは遅れているように思うが、どのように考えているのか。</p> <p>③環境先進都市ならではの「作るもの」「売るもの」に対する独自性が重要だと考えるが、市内の商業施設の一店舗または店内の一角に、マイタッパー持参による量り売りなどプラスチックや紙包装をしない買い物方法の社会的実験などを行ってはどうか。</p> <p>④農業が基幹産業である本市において、マイクロプラスチックを川に流さないために、プラスチック包装ではない肥料の使用の義務化とそれに対する支援策などについてどう考えるのか。</p>	
--	--	--	--	--

		<p>⑤上記に至るまでの対策として、プラスチック被膜殻流出への対策の徹底などはされているのか。</p>	<p>ガレリアかめおかの長寿命化計画について過去の議会でも問題点を指摘してきた。今後200億円超をガレリアかめおかにつぎ込む可能性があるが、地元の事業者が活躍できないことが多くある。一方で、亀岡会館除却後、音楽鑑賞や舞台鑑賞のできるホールのある施設が待ち望まれている。</p> <p>(1) ガレリアかめおかについて、長寿命化計画以外の、施設の在り方を見直す検討を始めているのか。</p> <p>(2) せめて、地元事業者によるリフォームで、無駄なスペースをなくすことや、会議室など活動スペースを増やすなど、市民がより活動しやすいものにできないのか。</p> <p>(3) 舞台やホールのある文化施設の在り方についての方向性はいつまでに見いだすつもりなのか。</p> <p>(4) 大きなコンサートができなくても、地域の文化活動の発表の場となるような、小・中規模のホールのある文化施設を、人口が増加する地域に分散設置する考えを取り入れられないのか。</p> <p>(5) 名実共に教育委員会管轄の公民館を増やして、公民館活動を積極的に行い、地域の文化・生涯学習活動を活性化する考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 ガレリアかめおかの施設管理運営と文化施設の設置について</p>	<p>3 地元事業者の支援と中小企業振興について</p>	<p>ガレリアかめおかの長寿命化計画に基づく改修工事の契約案件審査の際、公契約要綱が入札参加の事業者には徹底されていない事実が分かり、その是正と徹底を求めた。公的な契約に関しては地元事業者が活躍することを重視することが何より大切である。</p> <p>(1) その後の公契約や入札の際に、要綱を示して、趣旨の説明が徹底されているのか。</p> <p>(2) より責任を伴うような公契約条例に格上げすることが必要ではないのか。</p> <p>(3) 地元事業者がより活躍できるように、地元事業者が発注した場合に費用助成を行う「住宅・商店リフォーム助成制度」を創設して支援している市町村もあるが、本市でも創設してはどうか。</p> <p>(4) 地元中小企業を支援するために、昨秋長岡京市で制定された「中小企業振興基本条例」を参考に本市でも制定してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 消防団員の報酬引上げについて</p>	<p>総務省消防庁が全国の市町村に求めていた2022年4月からの消防団員の報酬引上げに対して、各地方公共団体の対応は様々であるが、日々御苦労いただいている消防団員の処遇改善</p>		<p>市長 所管部長</p>

		<p>5 街路樹等の課題について</p>	<p>は必要である。出勤報酬については改定されたが、年額報酬については変わっていないように思う。</p> <p>(1) 本市における現状と京都府内各市町村の対応状況は。</p> <p>(2) 年額報酬引上げに踏み切れない課題があるのか。</p> <p>(3) 報酬の受領や団運営の在り方などに解決すべき課題があるとしても、切り離してでも年額報酬の引上げは行うべきだと考えるが、所見と今後の見通しは。</p> <p>令和4年12月議会で南つつじヶ丘や東つつじヶ丘曙台4丁目の街路樹タイワンフウについて取り上げたが、その後頻りに剪定等が行われている。樹齢を重ねるごとの成長と高さ制限の剪定のミスマッチで見ると哀れな姿になってきているが、根本的な根上がりや歩道の傷み、人家への悪影響は解決できない。令和4年12月議会の答弁では依然として「剪定と補修を繰り返す」というものだったが、もはや新たな対策を講ずる必要性がある。</p> <p>(1) このまま剪定と4年周期の道路歩道の修繕を繰り返すやり方の費用は、全て抜去あるいは歩道面での幹切断を行う場合の費用に対して何年後に追い越すのかなど、費用の対比を行ったことがあるのか。あれば概要は。なければやるべきだと思うが所見は。</p> <p>(2) 南つつじヶ丘大葉台の南つつじヶ丘小学校の北東角の信号のある交差点から、東つつじヶ丘曙台4丁目のかかりまでの両サイドの歩道の街路樹が抜去された経緯と、その後の問題点や課題の有無は。</p> <p>(3) 一刻も早く全抜去したほうがあらゆる視点からも有効だと考えるが、検討すべきではないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
5	<p>山本由美子 (公明党議員団) 3月7日(火) 10:00~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	<p>1 子育て支援の充実について</p>	<p>コロナ禍により、2022年の出生数は統計開始以来、最も少ない80万人を下回る見通しで、国の想定より8年早く少子化が進んでおり、少子化の克服が大きな課題となっている。核家族化が進み、地域のつながりも希薄になる中で、孤立感や不安感を抱く妊産婦や子育て家庭も増えており、希望する誰もが安心して子どもを産み育てられる社会の構築が急務である。</p> <p>令和4年度第2次補正予算で伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する事業を支援するための交付金が創設された。</p> <p>(1) 伴走型相談支援における面談の実施時期や方法は。また、伴走型相談支援の充実に向けた人材育成や人材確保が必要と考えるが見解は。</p> <p>(2) 経済的支援について、出産・子育て応援ギ</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>フトの支給時期、要件は。また、事業開始時点で、すでに妊娠・出産されている方や出産に至らなかった方への対応は。</p> <p>保育所や幼稚園に通っていない「未就園児」への支援が課題となっている。</p> <p>(3) 専業主婦家庭などの未就園児を定期的に預かる保育制度の創設についての見解は。</p> <p>2024年4月施行予定の改正児童福祉法では市区町村において、子育て世帯を包括的に支援する「こども家庭センター」の設置に努めることとされている。</p> <p>(4) こども家庭センターの設置に向けて、本市の対応は。また、考えられる効果と設置する上での課題は。</p> <p>(5) 機構改革について考えは。</p>	<p>国の実態調査により、「ヤングケアラー」の深刻な実態が明らかになってきた。学業や健康への影響に加え、孤立が懸念されている。国においては、ヤングケアラーへの支援体制を強化するため、令和4年度から令和6年度までの3年間を「集中取組期間」と定めている。</p> <p>(1) 実態調査の実施に向けて、今後のスケジュールや方法についての考えは。</p> <p>(2) 関係機関（福祉・介護・医療・教育等）への研修の現状と今後の課題は。</p> <p>(3) 社会的認知度向上を図るための取組の現状と小・中・義務教育学校・高校生への対応は。</p> <p>(4) 家事支援、学習支援、外国語対応が必要な家庭への通訳支援など、支援制度や相談体制の整備が必要と考えるが見解は。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
	<p>3 高齢者施策について</p>	<p>日本福祉大学がボランティアポイント制度の効果を調査したところ、調査した自治体では介護予防と地域活動の参加促進の両面で効果が確認された。本市においては、令和5年度からモデル事業が実施予定となっている。</p> <p>(1) ボランティアポイント制度（モデル事業）の実施概要と事業をどのように進めていくのか。</p> <p>(2) 事業対象者とポイント付与の対象となる活動内容は。また、活動場所に偏りはしないのか。</p> <p>(3) モデル事業の効果を検証し、本格実施への移行時期は。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 行政手続きのデジタル化について</p>	<p>自治体のデジタル化への取組を後押しするため、国は今年度「デジタル田園都市国家構想交付金」を創設した。昨年12月に決定した総合戦略では、デジタル技術を活用した事業を実用化する自治体を2027年度までに1,500に増やす目標を掲げている。</p> <p>(1) 「書かない、待たない、行かない」窓口の導入に向けての進捗状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>5 地域公共交通について</p>	<p>(2) 「書かない窓口」を導入することによる課題解決及び考えられる効果は。</p> <p>(3) オンライン申請に伴う、決済方法の拡充についての考えは。</p> <p>(4) デジタル化を推進していくに当たり、誰一人取り残さない取組が重要であると考えますが、実施状況とさらなる支援についての考えは。</p> <p>地域公共交通は、市民の豊かな生活や地域間交流、にぎわいの維持・創出等、まちづくりを推進するために果たすべき役割は大きく、市民ニーズや社会環境の変化に対応でき、かつ、まちづくりと整合の取れた地域公共交通網の構築が求められている。</p> <p>(1) 「亀岡市地域公共交通網形成計画」の計画期間が2019年度から2023年度の5か年となっている。次の計画策定に当たり、地域や公共交通に関する現状や課題を今後どのように把握していくのか。</p> <p>(2) 市民からの要望等を踏まえ、前向きに現在進行している施策や事業、また改善に向けて検討が図られている事項は。</p> <p>(3) 交通空白地域だけでなく、市街地の交通不便地域解消に向けた要望も多く、バス・タクシー等地域公共交通の再構築に関する仕組みの拡充や新たな移動手段の導入についての考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>6 環境行政について</p>	<p>「かめおか脱炭素宣言」の実現に向け、本市においては、地域と共生した再生可能エネルギーの積極的な導入を推進する「ポジティブゾーニング（再生可能エネルギーの導入促進区域）」の設定に向けて取り組むとされている。</p> <p>(1) 再生可能エネルギーの導入促進区域を設定することの意義と期待される効果は。</p> <p>(2) 再生可能エネルギーの導入促進区域設定の考え方は。</p> <p>(3) 再生可能エネルギーの導入促進区域の抽出方法についての考えは。</p> <p>(4) 再生可能エネルギーの導入促進区域設定に当たり、地域の理解を得るには、地域課題の解決に貢献するなど、地域にメリットとなる取組であることが重要と考えるが見解は。また、考えられる地域のメリットとは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>7 教育行政について</p>	<p>令和4年8月に示された「子どもファースト宣言」の子どもに優しいまちの中に掲げられている、中学校給食の早期実現に対して、子育て中の方をはじめ多くの市民の方から期待の声が寄せられている。</p> <p>(1) 令和10年度から実施予定の中学校給食の実施に向けて、具体的にどのような計画で進</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>8 物価高対策について</p>	<p>めていくのか。  (2) 学校給食費の補助制度導入の考えは。  (3) 学校給食費の公会計化導入について、検討状況は。  文部科学省は、令和7年度までに公立学校のトイレの洋式化を95%まで整備するとの目標を掲げている。  (4) 本市の学校トイレの洋式化の現状と今後の計画は。  (5) 洋式化を着実に推進すると同時に、多目的トイレ、ウォシュレット付きトイレの整備も併せて推進すべきと考えるが見解は。また、災害時に避難所となる学校施設の災害対策機能強化の一環としてのトイレ整備には、総務省の緊急防災・減災事業債が活用できることから、この事業債を活用して、多目的トイレ、ウォシュレット付きトイレの設置促進に取り組むことについての見解は。</p> <p>国においては2022年度第2次補正予算に物価高対策が盛り込まれ、電気・ガス料金（都市ガス）の負担軽減策が令和5年2月請求分（1月使用分）から始まっている。  (1) LPガス（プロパンガス）について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、都市ガス料金に準じた対策を講じる考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
6	<p>竹内 博士 （かめおか党） 3月7日（火） 13:00～</p> <p>※代表質問 （一括）</p>	<p>1 亀岡市における人口減少について</p> <p>2 人権啓発・LGBTQ+について</p> <p>3 資源循環・ごみ減量・資源化について</p>	<p>亀岡市における人口減少について問う。  (1) 年々、人口が減少していくと考えられる中、本市は人口増加に向けて、今後どのような取組をしていくのか。</p> <p>人権啓発・LGBTQ+（多種多様な人たち）について問う。  (1) 先日、自民党の総理大臣秘書官が「見るのも嫌だ」等、同性婚をめぐる差別的な発言をし更迭された。パートナーシップ宣誓制度の運用により、人権意識向上を促進している本市として、独自の取組や条例制定について今後の所見は。  (2) LGBTQ+の人たちにとって過ごしやすく働きやすい環境づくりが必要と考えるがどうか。</p> <p>本市の資源循環・ごみ減量・資源化について問う。  (1) 亀岡市内ではエコウォーカーによるごみ拾い活動やイベント等が行われているが、ポイ捨て等によるごみが減っているように思えない。捨てさせない取組を考えるべきではないのか。  (2) 不法投棄の監視活動はどのように行われて</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>いるのか。</p> <p>(3) 前年度の埋立てごみ中間処理事業について、幾ら削減されたのか。</p> <p>(4) ポイ捨てやごみを減らす取組として、やはりマナー教育が一番大切だと考えるがどうか。</p>	
	4 道路整備について	<p>本市における道路整備について問う。</p> <p>(1) 市内全域の道路をチェックし、傷んでいる箇所の整備をする必要があると感じるがどうか。</p> <p>(2) JR亀岡駅南口のバスターミナルの歩道の表面が凸凹であり、早急に修繕が必要であるが今後の計画は。</p> <p>(3) 南つつじヶ丘や河原町等の街路樹が多い道路で根が盛り上がり凸凹の状態となっており、早急に修繕が必要だと思うがどうか。</p> <p>(4) 東・西別院町を観光エリアとするために、国道423号を大阪方面に向けて整備していくべきではないのか。</p>	市長 所管部長
	5 高齢者福祉問題について	<p>本市における高齢者福祉問題について問う。</p> <p>(1) 高齢者、特に一人暮らしの方の見守りについてどのくらいの期間で、どのように連携し支援を充実していくのか。</p> <p>(2) 認知症の方がおられる家族の支援体制についてはどのようになっているのか。</p> <p>(3) 山間部を中心に、高齢者の移動については年々深刻な問題になってきている。地域主体型交通が進められているが、さらにスムーズに高齢者が移動できる取組を考えるべきではないのか。</p> <p>(4) 本市としては、移動販売事業者と連携し、高齢者が手軽に買い物できる環境をつくるべきではないのか。</p>	市長 所管部長
	6 公共交通について	<p>本市における公共交通について問う。</p> <p>(1) 亀岡市の公共交通について、今後取り組むべき課題は。</p> <p>(2) ふるさとバスの至るところにさびや傷が目立つが、本市はメンテナンスやチェックをしているのか。</p>	市長 所管部長
	7 子育て支援・学校教育・就学援助について	<p>本市の子育て支援・学校教育・就学援助について問う。</p> <p>(1) 子育て支援については多くの事業がある中、今後どのように取り組んでいくのか。また、新規6事業の優先順や進め方は。</p> <p>(2) 「ヤングケアラー支援体制の強化」について、コーディネーターの配置等の実態調査をされるが、今年度中に本格的な支援体制に入れるのか。</p> <p>(3) 高校生まなび応援事業では、2人目以降の</p>	市長 教育長 所管部長

		<p>8 農業・林業 について</p>	<p>高校生の授業料を所得制限なしで補助するものであるが、なぜ2人目以降なのか。</p> <p>(4) 高校生まなび応援事業において、私立公立問わず所得制限なしとし、1人の高校生を持つ家庭でも、年間上限100万円として補助してはどうか。</p> <p>(5) 「育親学園」の建設が進められようとしているが、校門までの階段が小学校低学年(1・2年生)には非常に厳しいと考えられるため、マイクロバス等を利用するべきではないのか。</p> <p>(6) 未来の子どもたちのことを考えるのであれば、これまでのやり方ではなく、令和のニーズに合わせた学校環境づくりを進める必要があると考えるがどうか。</p> <p>(7) 「育親学園」の校内には子どもたちのプールがないと聞いているが、計画を見直し、プールを建設するべきではないのか。</p> <p>(8) 亀岡市子育て世代包括支援センターB comeの機能全てをワンストップ化することはできるのか。</p> <p>(9) 「B comeの場所が分かりにくく、入りにくい」との声を多数聞く。利便性向上へ改善策の検討が急務だと考えるがどうか。</p> <p>(10) ネットで「亀岡市 子育て情報」と検索したところ、子育て支援サービスなど、子育て世帯に有益な情報を探ることができなかった。亀岡市における子育て情報の発信はどうなっているのか。</p> <p>(11) 最新のかめおか子ども・子育てハンドブックの発行部数と配布状況は。</p> <p>本市における農業・林業について問う。</p> <p>(1) 亀岡市では「オーガニックビレッジ宣言」がなされ、有機農業への支援に力を注いでいるが、有機農業をされていない農業者への支援もすべきではないのか。</p> <p>(2) 新規就農者への支援やサポート体制について、今後どのような手厚い支援を行っていくのか。</p> <p>(3) 全国で草刈り機やトラクターによるけがや事故が多発し、失明や死亡事故が起きている。今後、亀岡市として事故防止のための安全講習を進めるべきではないのか。</p> <p>(4) 市内の路網整備を含めた林業整備はどのようなになっているのか。</p> <p>(5) 第5次亀岡市総合計画の中にバイオマスを利用した取組とあるが、森林整備のため間伐した木材をチップ化し、木質バイオマス発電所を設置する考えはないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>9 商業・観光 について</p>	<p>本市における商業・観光について問う。</p> <p>(1) JR亀岡駅南側について、どのようなまち</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>づくりをしていくのか。</p> <p>(2) 小規模・中小事業者に対し、支援体制の拡充を考えるべきではないのか。</p> <p>(3) 亀岡三大観光に光秀公を顕彰する「亀岡光秀まつり」を取り入れ、シンボルイベントとして拡大してはどうか。</p> <p>(4) 亀岡は観光の町であり、今後の財政を考えると、いかに亀岡に人を少しでも長く滞在させるかが重要であるが、そのような施策はあるのか。</p> <p>(5) コロナ禍でいまだに中小企業や商店などは悪状況が続いている。さらに支援体制強化を拡充する必要性を感じるが所見は。</p>	
		<p>10 行政運営について</p> <p>行政運営において、一番大切なのは「人づくり」であると考えている。</p> <p>(1) 市民に信頼される行政運営が大切であり、そのためには組織づくりと人づくりが最優先であると考えているが所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>11 財政運営について</p> <p>本市の財政運営について問う。</p> <p>(1) 20年、30年後には本市も人口減少で税収も激減することが考えられるが、今後の財政確保の取組をどのように考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
7	<p>法貴 隆司 3月7日(火) 14:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 防災・減災について</p> <p>近年の世界的な異常気象により災害が多発し激甚化している。また本年2月に発災したトルコ・シリア地震においては多くの死傷者が出るなど大災害となった。本市においてもセーフコミュニティ認証都市として、必ず起こると言われている大規模災害に万全の体制で備える必要がある。</p> <p>(1) 本年1月の大雪により、国道9号、京都縦貫自動車道が通行止めになり、またしても亀岡が陸の孤島となったが、国道9号の4車線化、ダブルルート化についての所見は。</p> <p>(2) 災害等により大規模な車の立往生が起こったときに備え、支援物資等を届けるなどの備えは。</p> <p>(3) 広域的な災害発生時の備えは。</p> <p>(4) 平成14年以来の亀岡市での開催となる京都府総合防災訓練の内容は。</p> <p>(5) 市内23自主防災会に地域主体の防災訓練を推進する予定は。</p> <p>(6) 地域版ハザードマップの更新状況は。</p> <p>(7) 災害時や、大手通信会社が通信障害に陥ったときの通信手段として活用している防災無線は、本市として何台常備しているのか。</p> <p>(8) 山間部等で防災無線の送受信が困難な場所があるのではないかと。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>2 消防団員の確保、設備について</p> <p>地域防災を支える消防団は、近年、新入団員の確保が厳しく、高齢化もあり体制を維持することが難しくなっている。昨年、出勤報酬は改正され</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>3 通学路の安全・安心について</p>	<p>たが、各分団では若者の増加が見込めない状況である。</p> <p>(1) 亀岡市消防団員の平均年齢は。</p> <p>(2) 消防団員の高齢化が進み、有事の際に2次災害のおそれがあることを鑑み、総務省消防庁が取り組んでいる学生消防活動認証制度を活用し、広く学生消防団員を募集してはどうか。</p> <p>(3) 曾我部分団4部9班の屯所が、老朽化により消防団活動に支障を来しているが、整備計画は。</p> <p>府道東掛小林線の曾我部小学校前から亀岡運動公園前交差点間における曾我部小学校・南桑中学校の通学路問題は、数十年前から地元の課題である。直線で見通しもよく、特に朝の通勤時間帯はスピードオーバーの車両も多く非常に危険である。昨年も女子生徒が走行車両に幅寄せされ、先代川幹線水路に自転車ごと転落する事案が発生している。また本年2月には、下校途中の女子生徒が不審車両に付きまとわれた事案も発生している。</p> <p>(1) 令和5年1月現在、本市では固定防犯カメラが151台設置されているが、通学路を中心とした防犯カメラの大規模設置の予定は。</p> <p>(2) ドライブレコーダーの映像が決め手となり解決した事案が3件あったと認識しているが、固定防犯カメラが事案の解決、またはきっかけになった事案は何件あるのか。</p> <p>(3) 亀岡市ドライブレコーダーによるまちの見守り協定の設置台数が634台だと認識しているが、かめおか「まち・レコ」プロジェクトの登録者数は。</p> <p>(4) 府道東掛小林線の道路拡幅、街路灯増設の整備計画は。</p> <p>(5) 府道東掛小林線のゾーン30の指定申請はできないか。</p> <p>(6) 穂田野町太田北東付近の京都縦貫自動車道をくぐる変則交差点に、地元から信号機設置の強い要望があったと思うが整備計画は。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
		<p>4 公共交通について</p>	<p>少子高齢化や高齢者運転免許証自主返納支援事業により増加した交通弱者の方に対し、持続可能な地域公共交通体系の形成が必要である。</p> <p>(1) 亀岡市ふるさとバス、亀岡市コミュニティバスの令和4年度の利用者数は。</p> <p>(2) 東別院町地域生活交通事業の令和4年度の利用者数は。</p> <p>(3) 今後超高齢社会を迎えるに当たり、自家用車に近い感覚で利用でき、自宅から目的地までドア・ツー・ドアで移動できるデマンドタクシーの本格的導入の予定は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

8	<p>松山 雅行 3月7日(火) 15:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 JR千代川 駅整備について</p> <p>2 阪神地域と の連携による課 題解決及び成長 戦略構築につ いて</p> <p>3 教育現場で の現金管理につ いて</p> <p>4 家庭ごみの 分別区分拡大に ついて</p> <p>5 有事の際の 道路確保につい</p>	<p>平成27年にはJR千代川駅東側のロータリーを整備いただき、令和2年には西側のバリアフリー及びバリアフリー化に伴う駅舎改修、令和3年2月11日には駅東側のバリアフリー整備工事が完了した。JR千代川駅を核としたまちづくりが着々と進んでいる。</p> <p>(1)東西自由通路の整備などに向けての進捗と今後の計画は。</p> <p>(2)駅の東側にはトイレがなく、早期のトイレ設置を望む声が多いが協議進捗は。</p> <p>令和4年6月23日に大阪府豊能町と本市との間で、災害時相互応援に関する協定が締結された。有事の際に備えて府域を越え自治体間で連携を強化すべく取組を進めている。本市が推進している阪神地域との連携は、行政や地域課題を解決に導くだけでなく、まちの成長戦略を構築する上で、大変重要な位置づけであると考えている。</p> <p>(1)国道423号重要物流道路、代替・補完路指定(余野から亀岡間)に向けた国・府との協議進捗は。</p> <p>(2)北摂地域と連携した具体的な観光振興に取り組む考えは。</p> <p>(3)民間バス事業者とも官民連携で運行連携をしていく必要があると考えるが所見は。</p> <p>(4)本市と阪神地域との連携をより強固なものにするため、相互自治体で柔軟かつ大胆に連携しやすく共に持続可能な成長を生むため土台となる協議体制を構築できないのか。</p> <p>今年2月3日に中学校長が生徒会費など現金計25万円を横領し、既に全額返済はされたが、懲戒免職処分となった。理由はどうであれ、決して許されないことである。事件後の教育委員会の現場対応と今後の防止策について問う。</p> <p>(1)事件後、どのような対応を行ったのか。</p> <p>(2)児童生徒へのケアはどのように行っているのか。</p> <p>(3)学校内での現金管理は事件前と後でどう方針を出されたのか。</p> <p>令和5年4月1日から家庭ごみの分別拡大及び収集曜日の変更がなされる。周知期間が短いことや外国人居住者への理解が進みづらい側面もあるとの声を聞いている。分別区分拡大の趣旨と今後の対策について問う。</p> <p>(1)家庭ごみ分別区分拡大に至った経緯は。</p> <p>(2)分別拡大後の資源化目標は。</p> <p>(3)外国人居住者への周知方法は。</p> <p>今年1月24日に積雪により京都縦貫自動車道・国道9号の通行止めがなされた。鉄道におい</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長</p> <p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
---	--	---	--	--

		て	ては、運休・運転見合せが発生し大混乱であった。本市における影響と被害状況、今後の対策について問う。 (1)本市で確認できている被害状況は。 (2)京都縦貫自動車道沓掛ICから篠ICまでの区間を有事の際に輸送できるようNEXCO西日本と協議はできないのか。	
9	平本 英久 3月7日(火) 16:15~  ※一問一答	1 児童生徒のための学校教育の環境整備について  2 コロナ関連による相談対応について  3 文化拠点施設整備について  4 子どもファーストを推進する本市の取組について  5 環境美化政策の新たな取組について	これまでも児童生徒の学習環境の充実に積極的に取り組んできたが、本市として今後の環境整備の拡充について問う。 (1)令和4年12月議会において、学校図書 of 充実の一環として市立小・中・義務教育学校に新聞の配備を要望した際、前向きに検討すると答弁があったが進捗状況は。 (2)児童生徒が安心して通学できる学校施設や通学路の安全対策について、本市としての考えは。  これまでコロナ禍における多様な情報提供などに取り組んできた本市であるが、誰一人取り残さないという観点から体制整備の充実について問う。 (1)健康不安や経済的な不安など多種の相談対応が必要と考えるが、現在の相談体制は。 (2)経済的に困窮する学生や若年層もサポートできる相談受付として福祉なんでも相談窓口の充実を求めるが、本市の考えは。 (3)経済的な不安を持つ奨学金を利用した若年層への救済支援体制の整備について、本市の考えは。  これまでも多くの市民から亀岡会館に代わる文化ホールの建設や文化資料館の整備を求める声があるが、施設整備の重要性や考え方について問う。 (1)本市の文化拠点施設に対する考えは。 (2)これまで行ってきた検討の現状や課題は。 (3)本市として文化拠点施設の建設を今後どのように進めていくのか。  子育て支援はもちろんのこと、子ども施策などに積極的に取り組んできた本市であるが、今後の新たな取組について問う。 (1)これまでも子ども施策を行うに際して様々な現状把握や調査を行ってきたが、ヤングケアラーの現状も調査把握するのか。 (2)子どもファースト宣言に基づく新たな取組として、どのような事業を考えているのか。  環境先進都市を目指す本市としてごみの再資源化にも積極的に取り組んできたが、今後の環境政策の展開について問う。	所管部長   市長 所管部長  市長 所管部長  市長 所管部長  市長 所管部長

			<p>(1) 駅北で進められている環境政策情報発信・交流拠点施設整備の進捗とプランは。</p> <p>(2) 様々なイベントや自治会の協力により行っているリユース品回収・交換会は、ごみの削減に一定成果が出ていると聞いているが、現状や今後の取組は。</p> <p>(3) 令和5年4月1日から実施される家庭ごみの分別区分の拡大について、周知の徹底はもちろんのこと、市民理解が必要だと思うが、どのように進めていくのか。</p> <p>(4) ごみ分別区分の細分化を行うことにより、どのような成果を見込むのか。</p>	
10	<p>大西 陽春 3月8日(水) 10:00~</p> <p>※一括</p>	<p>1 中学校給食の実施と無償化について</p>	<p>亀岡市は子どもファーストを宣言し、その中で中学校給食の早期実施も表明した。また、オーガニックビレッジ宣言も行った。子どもを大切に、有機農業を支援する市の動きは大切だと考える。よりよい中学校給食の実施に向けて問う。</p> <p>(1) 令和10年度実施に向けての具体的な計画とその進捗状況は。</p> <p>(2) オーガニックビレッジ宣言の中で、給食へのお米をはじめとする有機農産物の導入が盛り込まれているが、実施に向けての具体的な計画はどうか。</p> <p>(3) 中学校給食の先行実施について問う。</p> <p>① 令和6年開校予定の育親学園内に、給食の調理場を入れる計画はあるか。</p> <p>② 育親学園とともに、同じ義務教育学校の亀岡川東学園でもモデル校として、中学校給食の実施を進めてはどうか。</p> <p>(4) 有機農業を進める上でも、小規模調理場で地産地消の給食を進めることが有効と考える。センター方式や自校方式など、調理場の在り方についてはどのように考えているのか。</p> <p>(5) 小・中学校給食費の無償化について問う。</p> <p>① コロナ禍や物価高で暮らしが大変な中、他市町村では給食費の無償化が進んでいると聞くが、全国で給食費を無償化している市町村はどのくらいあるのか。</p> <p>② 給食費の無償化は、本市の計画にあるのか。</p> <p>(6) 本年1月23日に発表された2023年度京都府予算案において、子どもの教育のための総合交付金(予算規模3億円)が創設され、その中に市町村の学校給食への支援が盛り込まれたと聞くが、本市でも活用すべきではないか。</p> <p>(7) 中学校給食実施に向けた検討委員会について問う。</p> <p>① 検討委員会の開催はいつからと考えているのか。</p> <p>② 広く市民の意見が取り入れられた中学校給食にするため、市民、保護者、生産者、現場</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 JR千代川駅について</p>	<p>の教員（栄養教諭、調理員）を含んで検討してほしいと要望があるが、構成員をどのように考えているのか。</p> <p>住宅地開発が進み人口増加の千代川町にあるJR千代川駅の安全性と利便性について問う。</p> <p>(1) 千代川町の人口増加とJR千代川駅の利用者数の増減の状況はつかんでいるのか。</p> <p>(2) 亀岡市バリアフリー基本構想（千代川駅周辺地区）に基づき、駅舎へのスロープ整備が行われているが、車椅子利用者が自走で上がるのは難しく、駅の出入りに使うドアが手動のため、車椅子利用者が一人で利用することが困難だと考えるが、改善の見通しはあるのか。</p> <p>(3) 公衆トイレも一定整備され、手すりのついた手洗い場があるが、入り口に段差があり、和式トイレのため高齢者や足の不自由な方が利用するのは困難である。改善の見通しはあるのか。</p> <p>(4) 駅ホームの幅が狭く、屋根のない区間も多いため、雨天時は列車の風圧で傘が飛ばされそうになり危険である。改善の見通しはあるのか。</p> <p>(5) エレベーターが設置されていない駅は、亀岡市内JR4駅の中で千代川駅だけである。エレベーターが設置できない理由があるのか。</p> <p>(6) JR千代川駅の陸橋は、50年前に設置されたもので、さびがあちこちにあり階段が狭く雨や雪の日は滑りやすい。安全基準を満たしているのか。</p> <p>(7) 盲導犬を連れた視覚障がい者が利用されていたが、駅員が常駐しておらず、改札にIC O C Aの表示がなく、改札から出るのに苦労されていた。音声による案内や点字による表示が必要ではないか。</p> <p>(8) JR千代川駅は、現在11時から14時の昼間は1時間に1本しか電車がなく、買い物や通院のための利用者の待ち時間が長くなっている。JR西日本との協議や要請はなされているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 暮らしを支援する水道料金の引下げについて</p>	<p>コロナ禍や物価高で市民の暮らしが大変である。電気代や灯油代も上がり、寒い中でも我慢して暮らす人々や、収入が上がらず生活が大変な方が増えている。市としての支援策を問う。</p> <p>(1) 市の水道料金の設定は、基本料金に超過料金を加算する方式である。基本料金の20立方メートルに満たない世帯はどのくらいあるのか。</p> <p>(2) 基本料金の設定を10立方メートルか15立方メートルに設定することで、料金を下げ</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>ることが可能と考えるがどうか。</p> <p>(3) 水道料金の基本料金の減免について問う。</p> <p>①市民全体の暮らしを応援するために、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用している市町村は京都府内でどのくらいあるのか。</p> <p>②本市でも水道料金の基本料金の減免が実施できないか。</p> <p>③せめて、生活に困っている非課税世帯に水道料金の基本料金を無料にする考えはないか。</p>	
11	<p>富谷加都子 3月8日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	1 環境施策について	<p>令和3年2月に「かめおか脱炭素宣言」し、令和3年2年を目途に温室効果ガス排出量実質ゼロ実現に向け様々な取組を実施している。今後も、環境先進都市亀岡の実現に向け、施策展開を大いに期待するところである。脱炭素化に向けた本市の取組の方向性を問う。</p> <p>(1) 令和5年4月1日より、ごみの分別区分拡大が実施される。実施に当たっては、準備期間を充分確保し、支援体制を強化することで市民理解は得られると考えるが、分別拡大に向けた支援体制は。</p> <p>(2) 資源ごみ集団回収報奨金制度登録団体の推進状況は。(直近の登録団体の推移)</p> <p>(3) ごみ減量化のため、資源化の推進や焼却ごみの減量に努めていると承知している。中でも、燃やすしかないごみである生ごみの減量は焼却ごみ削減に大きな効用をもたらす。生ごみを出さない方向で、今後の取組強化を求める。</p> <p>①生ごみは80%が水分であることから、水切り強化を特化して周知すべきと考えるがどうか。</p> <p>②生ごみ処理器への補助率を拡大し、ごみ削減を強化する考えは。</p> <p>③ごみ削減の取組の一つとして、生ごみ出しゃせん袋を無償配布している自治体があるが取り入れてはどうか。</p> <p>(4) 再生可能エネルギーの普及推進の取組について問う。</p> <p>①ウクライナ侵略から一年、多くの国民は、エネルギーの安定供給が暮らしを守る上で不可欠だと認識した。政府は、安定供給と脱炭素を両立するGX(グリーン転スフォーメーション)の実現に向けた基本方針を閣議決定した。省エネや再生可能エネルギー、水素などを総動員するとしている。本市の現状把握として、2018年に設立した亀岡ふるさとエナジー株式会社による電力供給において、毎年どのくらいの二酸化炭素の排出量削減効果があるのか。また、最終的な目標は。</p> <p>②再生可能エネルギーの普及推進に当たって、住宅や事業所用の太陽光発電システムと蓄</p>	市長 所管部長

		<p>2 奨学金返済支援について</p>	<p>電設備の助成予算を拡大し、導入拡大を図る考えは。</p> <p>③省エネや再生可能エネルギー普及推進に当たって、新たな取組はあるのか。</p> <p>日本学生支援機構の「令和2年度学生生活調査」によると、奨学金返済支援を受けている学生は、大学（昼間部）49.6%、短期大学56.9%に上る。自治体が奨学金返済支援制度を導入すれば、UIJターンの動機づけにつながる。</p> <p>(1) 企業による返済支援は、2021年4月から、社員に代わって企業が奨学金を貸与する日本学生支援機構に直接返還できる「代理返還」制度が始まっている。企業側としても、損金算入できるため法人税の軽減につながり、導入企業は増加傾向にある。地元企業の人材確保のため、市として企業に啓発しているか。</p> <p>(2) 既婚・未婚を問わず若者世代を応援する取組として、返済支援制度導入を望む声を聞く。市内外を問わず本市の定住促進に効果が期待できると思うが、市の施策として今後導入する考えは。</p> <p>(3) 特に介護事業所や福祉専門資格者の若手人材確保が課題であるが、高齢化社会に向けて、人材確保にも寄与できると考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 トロッコ亀岡駅南側のにぎわいについて</p>	<p>篠町は、三大観光の一つである嵯峨野観光鉄道（トロッコ列車）とラフティングの拠点である。トロッコ亀岡駅周辺は、観光戦略のスポットでもある。しかし、観光資源が生かせず一通過点になっている。新たに、トロッコ亀岡駅前の観光案内所が南側ヘゲートウェイとして刷新される計画がある。にぎわいゾーンとして、今後の観光振興を問う。</p> <p>(1) 観光案内所は、市内観光をつなぐ重要な施設である。直近でのトロッコ亀岡駅の観光案内の実績は。（休業期間を除き年間の件数・問合せ内容）</p> <p>(2) トロッコ亀岡駅北側の保津川かわまちづくり計画による整備と呼応し、南側も整備すべきと考える。市の目指す観光の方向性として、観光整備計画策定の見通しはあるのか。</p> <p>(3) トロッコ亀岡駅南側は、若者が全国からラフティングに来訪されている。若者世代に特化した拠点にできればと考えるがどうか。</p> <p>(4) 今後、観光拠点として、機運醸成のため箱物ありきではなく、土・日・祝日等に平面駐車場でキッチンカーやテント販売などを実施することは可能か。</p>	<p>市長 所管部長</p>

12	土岐 新 3月8日(水) 13:00~  ※一問一答	1 子育て支援について	子育て支援について問う。 (1) 令和5年度、新しい子育て支援事業が幾つか追加されるが、それに伴い、各担当部署の職員増員が必要と感じるが、その対応は。 (2) 経済的な理由で、高校等に進学できない家庭がある中、早急に本市独自の思いやり支援として、新しい制度をつくるべきではないか。	市長 所管部長
		2 街路灯について	市内の街路灯について問う。 (1) 安町地内に設置されている、モニュメント型の街路灯は、暗く危険である。より明るい街路灯に変更するべきではないか。また、増設する考えは。 (2) 亀岡市全体を見ても、街路灯が非常に少ないと感じる。自治会からの要望を待つだけでなく、一度市としてチェックする必要があると思うが所見は。	市長 所管部長
		3 雨水排水計画について	雨水排水計画について問う。 (1) 亀岡市の雨水排水計画はどのようになっているのか。 (2) ゲリラ豪雨時、市内の道路で冠水場所が多く見られるが、今後どのように取り組んでいくのか。 (3) 余部町清水地内の、市営清水住宅の南東側住宅地では、豪雨時に冠水することが非常に多いが、早急に対策を取るべきではないのか。	市長 所管部長
		4 高齢者の移動手段について	高齢者の移動手段について問う。 (1) 全国的に高齢化が進み、本市でも高齢者の移動手段に関して、様々な問題が起きている。特に坂道が多い住宅地では、新たな交通手段が必要であると思うが所見は。 (2) 坂道が多い西つつじヶ丘や保津町の保津ヶ丘等は、高齢者が移動することが非常に困難である。特に、下矢田町の君塚団地は、坂道が急であるため、団地内にバス停を一つ増やし、利便性を高めてはどうか。 (3) 早急にタクシー会社等を活用したデマンドタクシーの導入が必要と思うが、本市の今後の取組は。	市長 所管部長
		5 森林整備について	森林整備について問う (1) 本市の森林整備の進捗は。 (2) 亀岡市森林組合における担い手育成について、現状と課題は。 (3) 本市の森林整備について、今後の計画は。	市長 所管部長
13	西口 純生 3月8日(水) 13:45~	1 市長の政治姿勢について	新時代亀岡創生の機運が高まる中で、次の世代につなぐ亀岡のまちづくりのために、市長の政治姿勢について問う。	市長

	<p>※一問一答</p>	<p>2 川東地域の振興・活性化について</p>	<p>(1) 川東地域では「真秀場（まほろば）川東を巡る行事」があり、それは、住みやすい環境のまち、ふるさとのすばらしさを表現した、倭建命（ヤマトタケルノミコト）が残した古語「まほろば」であるが、亀岡市の目指す方向性として、まず、市政運営の根幹をなす、行政が目指す目標人口値を、私は10万人と考えるが見解は。</p> <p>(2) 子育て支援について、人口減少の状況は進行し、次代を支える子どもたちへの支援は重要であり、子どもファースト宣言の第2弾を発表されたことは高く評価する。本年2月22日にテレビで紹介された「奇跡のまち奈義町」の報道は、社会に驚愕の念を抱かせるほど、子育て支援の内容が充実したものであったが、これについての見解は。</p> <p>(3) 宇津根橋からJR亀岡駅北直結道路の整備により、地域活性化の変革を起こす政策が期待されるが、その見解と見通しは。</p> <p>(4) 旧京都スタジアム用地跡地の活用として、令和8年に開催予定の「（仮称）全国都市緑化フェア in 京都丹波」において、保全してきた天然記念物アユモドキと自然との共生に成功した姿を見せるフェスタとして、誘致し地域活性化につなぐ事業としてはどうか。</p> <p>まほろば川東のすばらしさは、歴史と伝統文化に生まれ、魅力あるふるさとをほうふつさせる意味を持つ点である。その中で、住みよいうすばらしいまちの表現に使われている、まほろば川東の活性化について問う。</p> <p>(1) 丹波国分寺跡整備計画区域の土地問題について、平成15年までに市が土地の買収を完了することを約束したと地元地権者から声があるが、これまでの説明状況と今後の早期対応について見解は。</p> <p>(2) 七谷川の活性化への試みについて、時期や昼夜を問わず、四季折々に変革する観光地としてのにぎわいの創出に向け、例えば、秋は収穫祭を兼ねた食のフェスタやリバーサイドマーケット等を開催し、夜はイルミネーションをするなど、一年を通じた変わらぬ観光スポットの活性化の事業展開を提案するが見解は。</p> <p>(3) 河原林町の亀岡市農業公園を子ども広場として活用し、今はやりの人気のある遊具をそろえ、穀倉地川東の中で、農業と子育ての二本立ての子ども農業体験公園として、事業展開してはどうか。</p> <p>(4) 保津橋のイルミネーションは、どのような姿で復活し、いつ頃点灯するのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
		<p>3 安全・安心</p>	<p>安全・安心のまちづくりの推進について問う。</p>	<p>市長</p>

		<p>のまちづくりに ついて</p> <p>4 偉人の顕彰 について</p>	<p>(1) 桂川河川整備の基本を無視し、保津橋上流の曾我谷川合流点の霞堤嵩上げを外し、さらに上流の宇津根橋から整備する根拠は。</p> <p>(2) 霞堤嵩上げによる内水処理の基本は効果的な排水ポンプ施設の設定であるが、完了するまでの間は、既存の排水ポンプ車両を活用できるとのことである。配備計画と協定の内容は。</p> <p>(3) 今後の河川整備の進め方について、これまでに、下流の整備計画の情報は、常に上流に情報提供するよう申し入れてきており、下流での事業が完成すれば、上流で、その安全を確認してきた。その成果があって、昨年9月、嵐山の可動式止水壁と保津橋下流の霞堤嵩上げを同時完成させることができた。この上下流同時完成の方式で、河川整備促進の道が新たに開けたと考えるが、今後この運用の促進を図る見解は。</p> <p>(4) 谷山池の緊急避難用監視システムの運用はいつごろ実践できるのか。また、他の地域でそのような施策が必要なため池はあるのか。</p> <p>(5) 危険なため池があるならば、電波は市内に全て届くのか。また、今後の対応は。</p> <p>地元亀岡には、偉人として名高く、社会に貢献してきた数多くの人がおられるが、あまり知られていない人もいます。まず一人目に、村上茂八郎の言葉で「人の命にかわりなし」とあるが、身分制度が厳しい江戸時代中期宝暦年間において、人の命の平等性を説いた人である。次に、関口清太郎の言葉で「絶対にこの橋は流れない」とあり、自信を持って全国の橋を手がけ、保津町の沈下橋を建設した人である。これらの偉人は人々から忘れられた存在であり、私の中では、亀岡の偉人の一人として敬愛している。</p> <p>(1) この二人の存在を知っているのか。また、人権問題の啓発と、地域活性化に貢献された人物として顕彰できないのか。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
14	<p>梅本 靖博 3月8日(水) 14:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 ごみの分別 拡大に伴う課題 と高齢者の負担 について</p>	<p>亀岡市は、かめおかプラスチックごみゼロ宣言(平成30年12月13日)やかめおか脱炭素宣言(令和3年2月15日)等、環境に関する取組を積極的に進められ、エコウォーカーやかめおか未来づくり環境パートナーシップ協定等、市民参加型や企業連携型等、多様な手法で取り組まれている。令和5年4月1日から、将来世代に負担をかけないよう、ごみの分別拡大が実施されるが、自治会等から短期間で内容を周知し、実行できるのか心配する声が上がっている。</p> <p>(1) 令和5年1月以降、要望に応じ、各自治会で分別拡大に伴う講習会が開催されている。需要が多く3月も予定が埋まっていると聞かすが、4月以降も講習会を実施するのか。ま</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>た、分別拡大実施後の課題には、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 分別拡大に伴い高齢者がごみ出しをするための負担が大きくなることが心配されるが、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(3) ふれあい収集についても、高齢化に伴い課題が複雑化することが心配されるが、介護の視点と併せて一定のルールづくりが必要ではないか。</p>	<p>た、分別拡大実施後の課題には、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 分別拡大に伴い高齢者がごみ出しをするための負担が大きくなることが心配されるが、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(3) ふれあい収集についても、高齢化に伴い課題が複雑化することが心配されるが、介護の視点と併せて一定のルールづくりが必要ではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 コミュニティバスの路線の見直しとデマンドバスの採用について</p>	<p>亀岡市の公共交通にはJR・京阪京都交通・ふるさとバス・コミュニティバスがあるが、利用者から改善の希望があると聞いている。</p> <p>(1) コミュニティバスの運行に関して「評価されている」意見や「改善を求められている」意見があると思うが、どのように受け止めているのか。また、どのように対応していくのか。</p> <p>(2) 篠町では、コミュニティバスが試験運行しているが、現在の路線を延長・拡充する予定は。</p> <p>(3) コミュニティバスの路線がない篠町西区・王子区から路線の延長・拡大の要望があるが所見は。</p> <p>(4) デマンドバス等、その他の選択肢を採用する考えは。</p> <p>(5) 地域からのコミュニティバスに関する改善要望やデマンドバスの採用等に対する課題と今後の展望は。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 市道馬堀駅国道線への信号機設置について</p>	<p>池田歯科医院に隣接する交差点は、以前から自動車事故等が多く、地元では「危険な交差点」と心配されており、篠町自治会・野条区・支部から、利用・通行される方の社会生活上の安全確保のため、信号機設置の要望がある。当時、担当課から令和4年度中に用地を買収し、その後に信号機を設置すると聞いていたが、その後の進捗について問う。</p> <p>(1) 当時は、設置場所がないため、用地買収を含む周辺の環境が整えば設置できると聞いたが進捗状況は。</p> <p>(2) アル・プラザ亀岡からJR馬堀駅をつなぐ道路整備（街路事業馬堀停車場篠線(第2工区)）との関連性は。</p> <p>(3) 信号機を設置するまでの間、どのように安全性を確保するのか。</p> <p>(4) 危険な交差点の問題解決に向けた課題と今後の見通しは。</p>	<p>池田歯科医院に隣接する交差点は、以前から自動車事故等が多く、地元では「危険な交差点」と心配されており、篠町自治会・野条区・支部から、利用・通行される方の社会生活上の安全確保のため、信号機設置の要望がある。当時、担当課から令和4年度中に用地を買収し、その後に信号機を設置すると聞いていたが、その後の進捗について問う。</p> <p>(1) 当時は、設置場所がないため、用地買収を含む周辺の環境が整えば設置できると聞いたが進捗状況は。</p> <p>(2) アル・プラザ亀岡からJR馬堀駅をつなぐ道路整備（街路事業馬堀停車場篠線(第2工区)）との関連性は。</p> <p>(3) 信号機を設置するまでの間、どのように安全性を確保するのか。</p> <p>(4) 危険な交差点の問題解決に向けた課題と今後の見通しは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 西川整備・遊歩道の防犯灯・街路灯の設置について</p>	<p>一級河川西川左岸整備事業は、篠町自治会やプロジェクト保津川等が連携し、長年取り組んできた。遊歩道は、散歩等だけではなく、通勤・通学にも大変多く利用されているが、夜間の交通安</p>	<p>一級河川西川左岸整備事業は、篠町自治会やプロジェクト保津川等が連携し、長年取り組んできた。遊歩道は、散歩等だけではなく、通勤・通学にも大変多く利用されているが、夜間の交通安</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>全・防犯対策として防犯灯・街路灯の設置の要望がある。</p> <p>(1) 篠町自治会から要望があり、防犯灯・街路灯が1基設置されたが、それで安全性は十分に確保できたのか。</p> <p>(2) 河川の堤防沿いにある安全柵を利用した、防犯灯・街路灯の設置を検討しているとのことであるが、今後の見通しと課題とは。</p>	
15	<p>浅田 晴彦 3月8日(水) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 平の沢池駐車場の整備について</p> <p>2 市道池尻宇津根線整備について</p> <p>3 月読橋球技場に関連する安全・管理対策について</p> <p>4 亀岡川東学園の通学路について</p> <p>5 亀岡駅北3号公園の管理について</p>	<p>平の沢池の中池北側に馬路町池尻区の土地約1,500平方メートルを利用して駐車場整備が計画されており、地元を含めて多くの方が期待している。</p> <p>(1) 具体的な内容と整備時期は。</p> <p>市道池尻宇津根線の道路整備が進み、本年3月末に完成し、4月に供用開始が予定されている。</p> <p>(1) 整備は予定どおり進んでいるのか。(完成時期、供用開始時期等)</p> <p>(2) 制限速度の設定は。</p> <p>(3) 府道宮前千歳線と市道池尻宇津根線の交差点の信号機設置が無理となったが、信号機の代替策として、京都府と連携し道路標示及び注意喚起等の看板を設置するべきと考えるが計画は。</p> <p>月読橋球技場に関連する安全・管理対策について問う。</p> <p>(1) 馬路町三軒屋区の協力により建設予定のトイレ完成後の安全対策について、左岸堤防道路の交通量が増加している中で、横断歩道や注意喚起の看板を設置する計画は。</p> <p>(2) 月読橋球技場の駐車場に駐車できなかった車が、堤防沿いや馬路町三ツ辻区内に路上駐車している状況を散見する。月読橋球技場の駐車場を拡充(草刈り等により駐車スペースを確保するなど)する必要があると考えるが対策は。</p> <p>亀岡川東学園の通学路について、市道池尻宇津根線の同校から府道宮前千歳線間の制限速度が、警察の御理解と協力により、時速40キロメートルから時速30キロメートルへの変更が決定した。児童生徒の安全確保のため、さらなる安全対策が必要であると考え。</p> <p>(1) 制限速度が変更されるまでに、道路各箇所へのポール設置やグリーンベルト等を表示するなど、安全対策の計画は。</p> <p>亀岡駅北3号公園の愛称が「かめきたスポーツパーク」に決定し、本年4月1日から利用可能となる。施設管理や利用条件について問う。</p> <p>(1) 施設管理のために職員等を配置するのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>6 市道の大雪対策について</p> <p>7 亀岡市七谷川野外活動センターについて</p>	<p>(2) スケートボード施設の利用者のレベルをどのように確認するのか。</p> <p>(3) 施設の利用時間及び利用料金の設定は。</p> <p>今年も大雪の影響により、市内の道路で大渋滞が発生し、市民生活に混乱が生じたが、今後の市道における大雪対策について問う。</p> <p>(1) 積雪で通行困難が想定される市道の各交差点に、地域の協力を得て、凍結防止剤（塩化カルシウム）を常設してはどうか。</p> <p>千歳町自治会の協力により管理運営されている亀岡市七谷川野外活動センターは、市内外を問わず多くの皆さんに認知され、大変人気がある施設となっている。今後の施設整備等の考えを問う。</p> <p>(1) 遊具や老朽化している施設の改修予定は。</p> <p>(2) 近接するさくら公園(体育館やグラウンド)と連携して、市外の学校や地域のクラブ活動の合宿の誘致を積極的に進めていく考えは。</p> <p>(3) 亀岡市野外活動センターに近接するバーベキュー施設を改修整備する考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
16	<p>片山 輝夫 3月8日(水) 16:30~</p> <p>※一括</p>	<p>1 世界連邦・非核平和都市宣言と軍事費増額について</p> <p>2 農業者への緊急応援施策について</p>	<p>平成22年8月7日に宣言した「世界連邦・非核平和都市宣言」では、「私たちは、ふるさとを愛し、人を愛し、戦争のない平和で美しい地球を子どもたちに伝えるため、願いを同じくする世界の人びとと共に前進することを誓い、ここに、亀岡市を「世界連邦・非核平和都市」とすることを宣言します。」と結んでいる。</p> <p>岸田政権はGDP2%の10兆円を超える防衛予算を組み、ミサイルや戦闘機をアメリカより購入し、安保関連3法案を閣議決定の上、敵基地攻撃能力と集団的自衛権行使による「戦争する国家づくり」を進めようとしている。</p> <p>(1) 「軍事対軍事」の対決で、日本を戦争に巻き込む危険な動きに、国民世論は反対多数であるが、市長の所見は。</p> <p>(2) 宣言の世界恒久平和の理念と敵基地攻撃能力や集団的自衛権行使は、相入れないと思うが市長の認識は。</p> <p>(3) 令和5年度に平和教育を充実する方針を打ち出す首長として、防衛予算倍増の撤回を求める意思はないのか。</p> <p>コロナ禍と物価高騰が続く中、市内農家や畜産農家の経営は燃料、肥料、飼料代の高騰で悪化の一途をたどり、米価や乳価の低迷と高齢化と担い手不足により、将来展望が持てない危機的な状況になっている。このような中、昨年度亀岡牛の肥育農家に飼料代支援を実施されたが、南丹市では農業者緊急支援事業として1億8,000万円を予算計上し、耕種農家支援として、肥料代支援金、</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 冬期耕うん事業について</p> <p>4 会計年度任用職員の処遇改善について</p> <p>5 国営緊急農地再編整備事業</p>	<p>米価下支え支援金、また牛・豚・鶏全ての畜産農家支援として飼料代支援金を支給している。</p> <p>(1)本市の農家や畜産農家の経営状況をどのように把握しているのか。</p> <p>(2) 厳しい経営状況は南丹市と同様であり、早急に支援する考えはないのか。</p> <p>(3)市内農家や畜産農家はふるさと納税で多大な貢献をしており、また今後の有機農業の拡大に向けても、畜産農家の存在は欠くことができない。これ以上の離農を防ぐためにも緊急に支援すべきではないのか。</p> <p>令和4年度ジャンボタニシ対策の冬期耕うん事業の耕うん面積が、想定の250ヘクタールを大きく上回り、約520ヘクタールになることにより、交付単価が8,000円/反から3,850円/反と半減した。</p> <p>(1) これほど想定と大きく乖離した原因は。</p> <p>(2) 交付単価を引き上げる対応は取れないのか。</p> <p>今春闘は実質賃金さがり続ける中、労働組合は物価高騰以上の賃上げ実現を目指し、昨年を大きく上回る要求水準で臨んでいる。</p> <p>一方中小企業は先行きの不透明感から賃上げにはなお慎重な態度と言われており、いまだ日本は賃金の上昇しない世界でも特異な国になっている。また低賃金と不安定雇用により若者の結婚率はさがり続け、少子化の大きな原因になっている。</p> <p>さらに同一労働同一賃金が叫ばれているが、非正規労働者の労働条件は改善されず、公務職場でも正規職員の置き換えとして、会計年度任用職員が増加している。公務非正規女性全国ネットワークの緊急要望書でも指摘されるように、継続雇用や処遇改善が大きな課題になっている。</p> <p>(1)総務省は今通常国会で勤勉手当の支給を可能にする関連規定を盛り込んだ地方自治法改正案を提出し、早ければ2024年4月の施行を目指すとして報道している。勤勉手当の支給について市長の認識は。</p> <p>(2)本市の会計年度任用職員の月額報酬は、京都府に比べて、1万円以上低い水準になっており、時給換算でも最低賃金並みの水準であるが、早急に改善する考えはないのか。</p> <p>(3)市政運営に欠くことのできない会計年度任用職員として、特に令和5年度から拡充されるかめおか児童クラブの支援員や支援補助員の人員確保には、時給アップ等の処遇改善が不可欠と考えるが、その認識はあるのか。</p> <p>建設省河川砂防技術基準(案)では「支川の合流点の形状は原則として本川に滑らかに合流す</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	---	---	--

		<p>「亀岡中部地区」桂川西工区の幹線排水路と準用河川願成寺川の合流部処理について</p> <p>6 桂川と犬飼川における合流点改修について</p> <p>7 道路のアンダーパス部の安全対策について</p>	<p>る形状にするよう規定されており、合流角度をなるべく鋭角にして、平行に近く合流させる処理方法を原則としている。</p> <p>幹線排水路は農業排水だけでなく、市街化区域の排水も流入する洪水時には、かなりの水量が想定されている小河川並みの大きな排水路である。</p> <p>(1) 現計画は願成寺川に直角に合流しており、洪水時における幹線排水路の排水に支障を来すと考えられるが、なぜこのような合流部処理になっているのか。</p> <p>(2) 少なくとも下流に向けて45度の交差にできないのか。</p> <p>国営事業による橋梁設置と併せて、桂川と犬飼川及び願成寺川の合流部における霞堤の嵩上げや合流部の河川改修が必要になる。</p> <p>(1) 京都府南丹土木事務所との施工時期に係る協議の進捗状況は。</p> <p>(2) 桂川と犬飼川との合流部は土砂が堆積しており、犬飼川の流下能力が著しく低下している。地元住民は洪水被害を危惧しているが、現状をどのように認識しているのか。</p> <p>道路のアンダーパス構造は降雨時の冠水による危険性が指摘されており、昨年7月には滋賀県東近江市で死亡事故が発生している。また、その後訴訟が起こされており、全国的にもアンダーパス部の安全対策が検討課題になっている。</p> <p>(1) 亀岡市内にアンダーパス部は何か所あるのか。</p> <p>(2) 通学路に指定されているアンダーパス部はあるのか。</p> <p>(3) 都市計画道路駅北余部線のJRアンダーパス部は、ハザードマップで浸水深5メートル以上となっているが、どのような排水対策や安全対策が取られているのか。</p> <p>(4) 今後自動遮断器(エア構造)の設置や地元自治会等との安全確認委託契約(アンダーパスの日常監視業務や冠水時など事故が起きた際の市への連絡など)を結ぶ計画はあるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
17	<p>林 徹司 3月9日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡市立病院について</p>	<p>亀岡市立病院は、平成16年の開院から19年目を迎えるが、この3年間は未曾有の新型コロナウイルス感染症の対応と地域医療体制の確保に努め大きな役割を担ってきた。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴う病院経営に対する影響は。</p> <p>(2) 燃料費や物価高騰、半導体不足などの不安定な部品供給が、機器等のメンテナンスや修理対応に影響があるのか。</p> <p>(3) 耐用年数の経過による看護備品等の拡充の必要性は。</p>	<p>病院事業管理者 所管部長</p>

		<p>2 想定される大地震の対応について</p> <p>3 観光振興・地域活性化について</p>	<p>(4) 大雪や台風時における医師や技師、看護師等の通勤困難者への対応が必要であると考え、亀岡市内のビジネスホテルに宿泊してもらい、市が費用を負担してはどうか。</p> <p>(5) 今後も高度で良質な医療を市民に提供するために、予算の拡充・確保について、機動的な対応が必要ではないのか。</p> <p>必ず起きると言われている南海トラフ地震に備えておく必要があり、これまで市としても対応しているが、より一層踏み込んだ施策について問う。</p> <p>(1) 予測される亀岡埴生断層による被害を踏まえ、防災のための備えを強化しておく必要があると思うがどうか。</p> <p>(2) マイ・タイムラインの明確性を高めるとともに、周知の徹底強化が必要ではないのか。</p> <p>(3) ペットの同行避難の進捗状況は。</p> <p>スタジアムのあるまちとして、他地域から亀岡市へ足を運ぶ人も増えているが、長く滞在してもらうための取組について問う。</p> <p>(1) スタジアムでの観戦と湯の花温泉での宿泊等の旅行パックなどはあるのか。</p> <p>(2) 特徴的な取組は。</p> <p>(3) 亀岡の観光地と特色ある資源とを連携させたプランなども必要だと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
18	<p>小川 克己 3月9日(木) 10:45～</p> <p>※一括</p>	<p>1 文化施設の在り方について</p> <p>2 千代川町のまちづくりについて</p>	<p>令和4年12月議会で、文化施設の今後の在り方について質問をした際に、「12月中に亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会で、議論してきた内容について報告を受けることとなり、それを踏まえて今年度中には市としての方向性を示していきたい」との答弁があった。</p> <p>(1) 亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会からの文化ホール・文化資料館についての報告内容は。</p> <p>(2) 報告を受けて、市としてどのような方向性で整備を進めようと考えているのか。</p> <p>千代川町は、土地区画整理事業等により人口増となり、地元や市に協力いただく中で、国・府による事業が進められている。良好な農地を守り、水害対策と一体となったまちづくりや亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)による総合的なまちづくりが重要と考える。</p> <p>(1) 千々川改修とほ場整備の整合性について市としての所見は。</p> <p>(2) 千々川改修の今後の予定と廃川処分など市としてどこまで認識しているのか。</p> <p>(3) 国道9号下流部の千々川改修に伴い市に移管された残地をどう活用していくのか。</p> <p>(4) 土地区画整理事業やバリアフリー基本構</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 志教育について</p> <p>4 セーフコミュニティかめおかの取組について</p>	<p>想、通学路の安全対策の中で、国道9号の歩道整備が進められているが、今後の整備について、市と京都国道事務所との協議内容は。</p> <p>(5) 府道宮前千歳線鳴滝工区の完成予定時期は。</p> <p>亀岡市民憲章を掲げる本市において、令和5年度当初予算に計上された「志教育」について問う。</p> <p>(1) 事業の目的と内容、目指す目標の詳細は。</p> <p>セーフコミュニティの理念のもと、国際認証を更新してきた本市であるが、令和5年度には日本初のセーフコミュニティのパイオニアとして国内認証取得を目指している。安全・安心や事故防止、過去の質問を踏まえて問う。</p> <p>(1) それぞれの委員会による報告会が行われたが、総括としてどうであったのか。</p> <p>(2) 防犯や事故防止の観点から防犯カメラの設置やセーフコミュニティのまちをさらにPRすべきではないのか。</p> <p>(3) 防災の観点から、教育や他の事業と連携して取り組み、市民にさらに浸透させるべきではないのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
19	<p>山木 裕也 3月9日(木) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 移住・定住促進について</p> <p>2 亀岡市新婚世帯支援事業補助金について</p>	<p>本市において、人口減少の解決策として、移住者の受入れは、必要な手段の一つであり、移住・定住促進に係る市の考えを問う。</p> <p>(1) 本市における移住・定住促進策はどのようなものがあるか。</p> <p>(2) さらに推進目標などを掲載した計画はあるのか。また、あればその概要は。</p> <p>(3) 移住希望者の住居が足りないと聞かすが、どのようにマッチングしているのか。</p> <p>(4) 移住促進住宅整備事業に係る補助金は、上限が180万円と設定されている。近年の原油高に伴い建築資材が高騰しているが、180万円で充足しているのか。</p> <p>(5) 移住者の引っ越しに支援策はあるのか。</p> <p>(6) 移住者が定住するためには、地域の方々のコミュニケーションが重要であるが、受入れ先の協力体制は、どのようになっているのか。</p> <p>(7) 移住者が起業する際の支援制度は。また、地域で就労したい方への支援はあるのか。</p> <p>本市における少子化及び人口減少に歯止めをかけるために、いろいろと政策を進めていただいているが、若者が結婚して本市に定住するための支援策について問う。</p> <p>(1) 亀岡市新婚世帯支援事業補助金について、令和5年度の予算額は幾らか。</p> <p>(2) 亀岡市新婚世帯支援事業補助金の所得制限</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 千歳町史跡 丹波国分寺跡について</p> <p>4 育親学園設置後の各小学校跡地について</p>	<p>について、二人の合計所得が、400万円未満であれば30万円まで、500万円未満であれば18万円までであるが、その根拠は。</p> <p>(3) この補助事業は充足していないと思うが、増額する考えは。</p> <p>(4) 結婚して本市に定住する人を増やすことが、結果として少子化や人口減少に一定の歯止めができると思うが、今後の展望について所見は。</p> <p>千歳町の丹波国分寺跡整備事業について、川東地域のにぎわい創出のために、取り組まれているが、今後の整備予定について問う。</p> <p>(1) 現在の丹波国分寺跡整備事業の進捗状況は。</p> <p>(2) 整備事業とともに、川東地域のにぎわい創出のために、丹波国分寺跡に、より人の交流ができる工夫として、例えば、キッチンカーなどを活用して飲食エリアを設けるなどのイベント等を開催してはどうか。</p> <p>(3) 家族での散策や市内外から誘客するために、人気のドッグランなどを設置してはどうか。</p> <p>亀岡市学校規模適正化基本方針によって、育親学園設置が決定され、令和6年4月1日開校を目指し、現在取組が進められている。育親学園の開校に伴い、畑野小学校や青野小学校、本梅小学校の廃校後の跡地利用について問う。</p> <p>(1) それぞれの小学校の跡地について、地元自治会との協議を踏まえ、利用計画の考えは。</p> <p>(2) 現在協議されている利用計画について、教育委員会だけでなく、所管のまたがるものはあるのか。</p> <p>(3) 各学校の耐震化の状況と今後の維持管理についての考えは。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
20	<p>大塚 建彦 3月9日(木) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 オーガニックビレッジ宣言について</p>	<p>令和5年2月12日、ギャラリーかめおかにおいて、フォーラム「食と農のみらい～亀岡の有機農業から考える～」が開催され、桂川市長から、国内で2番目となる「オーガニックビレッジ宣言」が読み上げられた。</p> <p>(1) 宣言の内容と具体的な取組は。</p> <p>(2) JR亀岡駅北の都市公園を「オーガニックビレッジパーク」として整備されるが、具体的な内容は。</p> <p>(3) 国の施策である「みどりの食料システム戦略」が2050年までに目指す姿と亀岡市における取組は。</p> <p>(4) 有機農業を実践するためには土壌改良が必要である。市内に自生する竹やぶの整備を兼ねて竹の堆肥化を試みてはどうか。</p> <p>(5) 亀岡産農産物のブランド化の進捗状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 JR亀岡駅南周辺地区におけるにぎわい創出や「歴史的景観を活かした新たなまちの顔づくり」事業について</p>	<p>JR亀岡駅南周辺地区のにぎわい創出には、地元商店街の活性化が欠かせない。しかし、大型店やスーパーの進出等に伴う個人商店の顧客減少や店主の高齢化による後継者問題等、商店街を取り巻く環境は厳しさを増している。令和4年12月8日、京都・商店街創生センターが主催で、亀岡市内にある商店街の代表や亀岡市職員を交えて、現状から見える課題や活性化に向けた意見交換会が開催された。</p> <p>(1) 各商店街における空き店舗の現状は。  (2) 空き店舗の活用について、地元や家主と意見交換を行っているのか。  (3) 商店街の活性化に向け、京都・商店街創生センターとどのように連携しているのか。  (4) 今後の課題となる後継者の育成や起業家への支援等について、どのように考えているのか。  (5) JR亀岡駅南周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくりとは、どのようなもので、以前注目されていたコンパクトシティと、どのように関連しているのか。  (6) 住民や来訪者の愛着や満足度を高める空間の創出とは具体的にどのようなものか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 山階排水路改良事業の進捗について</p>	<p>旭町山階区における境川の砂留堰堤工事は、京都府が行う堰堤本体工事より先に、亀岡市が排水路改良工事を進める計画であるが、工事の進捗状況等について問う。</p> <p>(1) 排水路の工事計画は、最終段階に入っているが、下流域である南丹市八木町氷所地区と調整している事案はあるか。また、旭町と南丹市八木町氷所地区の間で、上流域の砂留堰堤や下流域の排水路の稼働に関する取決め等はあるのか。  (2) 砂留堰堤の工事現場に現存する墓地の移転状況は。  (3) 境川と同様に、豪雨のたびに流出土砂による被害が発生する市道美濃田平野線の改良工事の具体的な内容は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 サンガスタジアムにおける障がい者就労支援について</p>	<p>早くもJリーグの公式戦が始まり、地元京都サンガF. C. の活躍が期待される。サンガスタジアムにおける障がい者就労支援も4年目を迎え、サンガスタジアムという晴れやかな舞台で、障がいのある人もない人も一緒に働く就労体験は、参加された方々の自信と誇りにつながったと確信している。</p> <p>(1) インクルーシブ社会の実現を目指す亀岡市として、福祉的な取組のイメージが強い「就労支援」から、晴れやかなイメージの「就労体験」に名称を変更してはどうか。  (2) 現在の就労支援活動を就労体験プロジェクトに変更し、持続可能な取組にするため、企</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>業協賛や企業版ふるさと納税などを財源とする仕組みを作れないか。</p> <p>(3) 従来の作業所以外の施設から参加希望があった場合、対応することは可能か。</p> <p>(4) 今年度の事業実施予定は。</p>	
21	<p>大石 慶明 3月9日(木) 14:45～</p> <p>※一括</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 アフターコロナに向けての対応について</p> <p>3 避難所の安全・環境対策について</p>	<p>市長の卓越した発想力、リーダー力により当市の財政基盤も大幅に改善されたと認識している。安定した財政基盤、次世代に向けたまちづくりに向けての市長の政治姿勢を問う。</p> <p>(1) ふるさと納税等により大幅な収入増加につながっているが、安定的な収入確保に向けての見解は。</p> <p>(2) 「子どもファースト宣言」は人口減少対策の重要な施策の一つと考えているが、これらの施策を広く近隣都市等にも情報発信すべきと考えるが見解は。</p> <p>(3) これらの施策に伴う人材の確保が重要と考えるが見解は。</p> <p>(4) 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」や、亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の制定を行い、環境先進都市として着実に実績が出ている。これらの施策に対しての検証をすべきと考えるが見解は。</p> <p>政府は新型コロナについて、令和5年5月8日から感染症法上の位置づけを5類へ移行すると決定している。</p> <p>(1) 医療提供体制については5類移行後に一気に変えるのではなく段階的に変える見通しである。また、患者等への対応は、医療費等の一定の公費支援について期限を区切って継続するとなっているが、これらの対応についてどのように考えているのか。</p> <p>令和5年3月13日からマスクについても着用の判断は各個人に任される。</p> <p>(2) 市民生活上の注意事項とし具体的に言及するのか。</p> <p>(3) 学校教育活動における具体的な指導を行うのか。</p> <p>近年の災害発生件数の増加、災害規模の増大により避難所の重要性が大きくなっている。避難所の安全・環境対策について問う。</p> <p>(1) 一時避難所の防水・震災対策や、情報収集ツール(テレビ等)、非常電源設備の配備状況は。</p> <p>(2) 指定避難所及び指定緊急避難所の数は。</p> <p>(3) 指定避難所及び指定緊急避難所の防水・震災対策や、情報収集ツール(テレビ等)、非常電源設備の配備状況は。</p> <p>(4) 学校が避難所の場合は特に防水、耐震対策が急務と考えるが見解は。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 人口減少対策について</p> <p>5 菫田野町、吉川町における道路整備について</p>	<p>(5) 防災・避難所責任者の育成状況は。</p> <p>人口減少対策について、移住促進特別区域内における人口減少対策の効果を問う。</p> <p>(1) 空き家・空き地バンクの登録状況は、またそのうち、契約まで至った件数は。</p> <p>(2) 移住相談の受付件数は。</p> <p>(3) 移住契約まで至らなかった主な要因は。</p> <p>(4) 人口ビジョンを見ると大阪市及び茨木市、高槻市、その他亀岡市近隣の大阪府下において流出が著しいと思われるが、地域別の対策も必要ではないのか。</p> <p>菫田野町、吉川町を通る旧国道372号は幅員が狭く交通安全上も課題となっている。</p> <p>(1) 市道太田鹿谷線を奥条地区の国道372号まで延伸すべきと考えるが見解は。</p> <p>(2) 菫田野町太田地内を通る府道東掛小林線を国道372号まで直進でつなぎ、交通渋滞解消、交通安全を図るべきと考えるが見解は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
22	<p>原野実生子 3月9日(木) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 少子高齢化の現状について</p> <p>2 出産環境について</p> <p>3 子どもを育てやすいまちづくりの推進について</p>	<p>本市の人口は、2001年を境に減少に転じ、2020年には高齢化率が30%を超えた。少子高齢化に対して本腰を入れて対応するべきである。</p> <p>(1) 直近の亀岡市の出生率は。</p> <p>(2) 過去5年間の亀岡市の出生数の推移は。</p> <p>(3) 出生数の推移の要因は。</p> <p>第5次亀岡市総合計画のとおり、合計特殊出生率の引上げが必要であり、人口増加効果をもたらすまでには長期的な視点で取組を進める必要がある。急務な問題に対する考えを問う。</p> <p>(1) 亀岡市が子どもを産み育てやすいまちにするための取組は。</p> <p>(2) 安心して出産できる環境に整えるため、医療の充実が必要と考えるが、所見は。</p> <p>(3) 産後相談・ケア事業の利用料金について、所得制限の撤廃は。</p> <p>子どもファースト事業では、子育て世代の市民から喜びの声も聞く。子を持つ親の一人として安全・安心な保育所について問う。</p> <p>(1) 亀岡市における全ての公立保育所の耐震化は完了できているのか。</p> <p>(2) 今後10年以内に耐震化や更新が必要な公立保育所はあるのか。</p> <p>保育士不足が問題になる中、全ての公立保育所で安心して子どもを預けられ、安心して職員が働ける環境にするために、本市の考えを問う。</p> <p>(3) 保育士の定数は。</p> <p>(4) 保育士を募集するに当たり、働きやすい環境づくりの具体的な取組は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>(5) 公立保育所の一部を民営化し、勤務していた保育士を他の公立保育所に配置すれば保育士不足が解消できるのでは、と考えるが所見は。</p> <p>(6) 本市における待機児童の現状は。</p>	
23	<p>小林 仁 3月9日(木) 16:30~</p> <p>※一括</p>	<p>1 育親学園設置について</p> <p>2 オーガニックビレッジ宣言について</p>	<p>令和6年4月に亀岡市で2番目の義務教育学校開校となるが「生涯学習都市」にふさわしい学校像が求められている。特に、学校区が4町と広範囲になり、地域と密接に関わってきた地域住民としては、我が町から学校が無くなるとの悲観的な思いを乗り越え、統廃合ではなく未来の人材を育てるには義務教育学校が必要であるという思いを実現しなければならない。</p> <p>(1) 義務教育学校は柔軟なカリキュラムでの指導が可能であるが、生かし方と成果・目標は。</p> <p>(2) 開校に向けたスケジュールの進捗状況は。</p> <p>(3) 亀岡市学校規模適正化基本方針における義務教育学校の適正児童生徒数は。</p> <p>(4) 親に、移住してでも我が子を育親学園に入りたい、学ばせたいと思ってもらえる施策は。</p> <p>(5) 現育親中学校は、周辺山林の立木が高くその存在感が薄い。地元との協議により、間伐ではなく伐採を行い、亀岡市の花であるつつじの低木植栽をすることで、学校の存在感と環境改善を図れないか。</p> <p>(6) 現育親中学校の中野区側は作業道であるが利用が多い。市道認定しないのか。</p> <p>(7) 徒歩通学圏には4キロメートルという基準があるが、低学年の体力、交通量の増加、防犯を鑑みてこの基準は適切か。</p> <p>(8) 校区が広がると距離も長くなり、危険も潜む。通学の安全・安心対策は。</p> <p>(9) 食育・地産地消と給食について、安全・安心な食材供給が可能な自校方式導入による効果は。</p> <p>(10) 学校林の活用が計画され調査段階であるが、調査状況は。</p> <p>亀岡市は今年、有機農業元年として取り組まれる。その背景として、日本の食料自給率の低さがある。また、食の安全についても、農薬・遺伝子組み換え食品などにより脅かされている。自分の身は自分で守らなくてはならない。特に食については人の基盤と捉えなければならない。(質問については、「農林水産省 みどりの食料システム戦略」「亀岡市有機農業推進実施計画」を参考とする)</p> <p>(1) この宣言は、令和5年～令和9年の間でのモデル地区創出であり、横展開はその後の認識でよいか。</p> <p>(2) 事務局は亀岡市農林振興課であるが、同課</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>の京力農場プランとの関連は。</p> <p>(3) 「亀岡市有機農業推進実施計画」に「有機農業の推進を通じて農業に由来する環境負荷の低減を図ることにより、亀岡市における持続的な農業に資することを目的」とあるが、オーガニックと持続的な農業の相関関係は。</p> <p>(4) 有機農産物＝高付加価値と定義されているが、その根拠は。</p> <p>(5) 地産地消・給食への展開拡大において、パーセント指数での目標となっているが、量的目標は。また、モデル地区の反別の目標は。</p> <p>(6) 流通・販売の拡大について、京都市への給食は考えられないのか。</p> <p>(7) 経済効果分析を実施とあるが、効果がなかった場合の対処は。また、経済効果を創出する上で流通と消費に左右されるが、流通と消費にも手を加えるのか。</p>	
--	--	--	--	--